

平成25年度 関東総合バスケットボール選手権大会

男子準決勝 平成25年11月24日(日) 富士北麓運動公園体育館 大会2日目 Aコート 第2試合 11:10~					
〈Aチーム〉 千葉エクストリームス 千葉	86	$\left. \begin{array}{l} 20 - 6 \\ 23 - 11 \\ 20 - 16 \\ 23 - 13 \\ - \end{array} \right\}$	46	〈Bチーム〉 ALSOK GUNMA CLUB 群馬	
主審	清水 幹治	第1副審	二宮 隆二	第2副審	加藤 誉樹

S	NO	氏名	得点	3P	2P	FT	Foul
◎	0	池田 裕介	15	1	6	0	0
○	1	上口 真弘	0	0	0	0	1
◎	2	長田 茂雄	14	2	4	0	2
○	3	小山 純	15	0	7	1	2
◎	4	日影 カイル	8	0	4	0	4
	5	秋元 啓人					
	6	横山 拓巳					
○	7	清野 浩司	0	0	0	0	0
	8	黒田 裕					
	9	井上 知徳					
	10	林 裕輝					
○	11	田中 恭平	9	1	3	0	3
◎	15	中村 将大	6	0	2	2	3
	18	平 夏樹					
○	22	湯浅 健司	2	0	1	0	0
◎	23	星野 拓海	17	5	1	0	0
	24	高木 賢伸					
	54	上村 健太					
コーチ	有川 太郎						
		86	9	28	3	15	

S	NO	氏名	得点	3P	2P	FT	Foul
	00	比留間 泰史					
◎	4	新内 健太	14	0	6	2	4
	5	中尾 太一					
◎	6	村田 雄大	4	0	2	0	0
◎	7	山田 貴康	15	3	3	0	1
○	8	塩山 隼輔		0	0	0	1
○	9	大田 健人	4	0	1	2	1
	10	黒澤 浩一					
◎	11	林 聖次郎	3	0	1	1	1
	12	中田 学					
	13	田下 聡一					
◎	14	石田 裕之	2	0	1	0	0
○	15	根岸 健太	4	0	2	0	4
	16	鈴木 靖行					
コーチ	比留間 泰史						
		46	3	16	5	12	

◎:スターター ○出場 3P:3点シュート(本数) 2P:2点シュート(本数) FT:フリースロー(本数) Foul:パーソナルファウル

戦評	記入者: 渡辺 文章
<p>1P 両チームマンツーマンディフェンスでスタート。千葉は#4・#0のカットインプレー、#23の3Pで連続得点し、千葉7-0 ALSOKと順調な滑り出し。一方のALSOKは千葉の堅い守りに阻まれ、思うように得点できない。千葉はその後もリバウンドを支配し着実に加点。千葉20-6 ALSOKと千葉のリードで1P終了。</p> <p>2P ペースは変わらず、千葉が着々と得点を重ねる。ALSOKは#7・#8のアウトサイドシュートで糸口をつかもうとするがなかなか突破口を開くことができない。千葉は前半からメンバーチェンジを有効に使いながら、ゲームを優位に進め、千葉43-17 ALSOKと26点差で前半終了。</p> <p>3P ALSOKは#7が3P、アシストと気を吐く。#7を起点とした攻撃で反撃を開始する。ディフェンスでは#4のシュートブロックなどでゲームの流れを引き寄せ一気に点差を縮める。これに対し千葉はディフェンスを2-3ゾーンに切り替え、切れかかったリズムを取り戻し、再び主導権を奪い返す。千葉63-33 ALSOKと点差を広げ、3P終了。</p> <p>4P 立ち上がりからALSOKは#11・#9のドライブや#4のゴール下などで必死に食らいつくが、千葉の勢いを止めることができない。その後も千葉ペースで試合は進み、千葉86-46 ALSOKで試合終了。</p> <p>1試合を通じて千葉の攻守にわたってのチームプレーが光るゲームであった。その一方で点差が開いても粘り強く果敢に挑んでいくALSOKの姿勢には好感が持てるものであった。</p>	